

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【岩手県】

1 実践テーマ	【I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び】 【V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成】
2 実施対象者	・久慈市立山形中学校 全校生徒53名 ・生徒の保護者5名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 保健体育 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	オリンピックに出場した経験を有する方の講演を聞いたり、実技指導を受けたりすることを通して、スポーツの意義や価値を理解すると共に、スポーツの楽しさを実感し、心身共にスポーツに対する学びを深め、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて生徒一人ひとりの意識の向上を図る。
5 取組内容	(1) 事前学習 ア オリンピックの歴史や意義についての学習 事前に配付された「オリンピック・パラリンピックに関する指導資料DVD」を使用し、オリンピックの起源や重要な役割を担った人物、日本人選手の活躍の様子について学習した。 事前に生徒に「オリンピック・パラリンピックのイメージについて」聞いてみた。主な内容は以下の通りであった。  ・開会式が豪華である。 ・エンブレムが格好良い。 ・メダルを競う。 ・世界中の人々が集まる。 ・聖火ランナーがいる。 ・建設が急ピッチに行われる。 ・夏と冬に行われる。 ・世界大会である。 ・今までやってきたことを発表する。

イ 大山加奈さんの経歴について

オリンピックの大山加奈さん（2004年アテネオリンピック女子バレーボール日本代表選手）の経歴や人となりがわかるような動画を準備し、大山加奈さんについて学習した。

(2) 大山加奈さんの講演会と実技指導

ア 講演会

平成30年2月5日（月）1階ホールにて、「小さなきっかけから大きな夢へ」と題して約20分間の講演会を行った。

講演では、幼少の頃はぜん息であったこと、運動は苦手であったことを話され、生徒に伝えたいこととして特に3つ話をされた。それは、



「苦しいときに支えになってくれた仲間ほど、大事にしてほしい」  
「競技だけ一生懸命ではなく、それ以外の勉強や生活も努力する」  
「夢を叶える事よりも、夢を叶える為に努力をすることが最も大切である」

オリンピック代表選手になった後で、立ってられないほどの腰痛に悩まされ、ライバルの活躍する姿に葛藤し、苦悩する当時の様子を生徒が理解しやすい言葉や声のトーンを工夫して話され、どの生徒も最後まで大山さんのお話に聞き入っていた。

イ 実技指導

講演会の後、すぐに体育館で約40分間、実技指導が行われた。



【足だけでボールを扱う】



【ボールが床に落ちる前に触れる】



【じゃんけん勝ち抜き走】



【グループでのパス練習】



生徒のレシーブ体験】



【大山さんへの質問コーナー】



【山形中学校全校生徒、職員で大山加奈さんを囲んでの集合写真】

### (3) 事後学習

これまでの学習を踏まえて、今現在どのような気持ちでいるか生徒に聞き、それを「メッセージとして表してみよう」とし、一人ひとりに板書させた。

	
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今回の「オリンピック・パラリンピック」に関する学習を通して、生徒がその意義や価値についての理解をより高めることができた。</li> <li>• 普段会うことのないオリンピックに直接会うだけでも貴重な経験であるが、更に講演での話し方は、生徒が親しみやすく理解しやすい内容であった。</li> <li>• 実技では最初はやさしい内容から始め、徐々に難易度や関わる人数を増やし、非常によく練られた内容の組み立てであった。生徒は普通の授業より、明らかに意欲の高まりが見え、取り組みの精度も高かった。</li> <li>• 事後のアンケートからは、どの項目においても「非常にそう思う」が多く、講演会、実技指導についての感想でも「夢はあきらめなければ叶えられる」といった講演会での前向きな言葉により、多くの生徒が感動したという記述が多かった。</li> </ul>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事前に大山加奈さんの高校時代や社会人チーム、オリンピック代表選手としての活躍、腰痛に悩まされた日々と復活についての課程が、生徒にとって分かりやすい動画を選び、生徒に視聴させた。</li> <li>• 保健体育の授業内容を今回の学習に合わせて、バレーボールを5・6時間行い、基本技能の定着を図った。</li> <li>• 運営面ではあるが、大山加奈さんが山形中学校にいらしてからお帰りになるまで、原則として職員2名（1名は女性）が同行し、予定外の事やトラブルが起きてもすぐに対処できるよう配慮した。</li> </ul>
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事後学習のまとめ方について、アンケートを基に具体的にどのようにして2020年東京オリンピック・パラリンピックに関わっていくのかを考えさせたり、意見を交流させる場面を設定したりできれば、よりまとめとしてふさわしい内容になったと考える。</li> </ul>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今回の講演と実技の内容は生徒や教職員の予想を遙かに上回る充実した内容であった。来年度以降も今回のような機会があれば是非、お願いしたいと考えている。</li> </ul>